

(公財)ふるさと鳥根定住財団

(しまね県民活動支援センター)

<http://www.teiju.or.jp/>



しまね

いきいきねっと

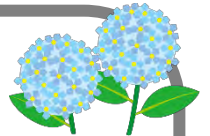
2015

7

月号

×切間近！ 地域づくり応援助成金

「地域の課題解決のために、新たな事業に挑戦したい!」「団体としてそろそろ次の段階にステップアップしたい!」そうは言っても、なかなか一歩が踏み出せない方も多はず。新たに何かを始めるとなれば、どうしてもつきまとうのが資金面の不安…。そんなみなさまにぜひご活用いただきたいのが、(公財)ふるさと鳥根定住財団の地域づくり応援助成金制度です。より幅広い分野から応募していただけるよう、従来の助成対象であるNPO法人・民間団体・グループに加え、今年度より商業法人も対象としています。みなさまの申請をお待ちしています!



- 対象期間 単年または2年
- 助成率 対象経費の3分の2(ただし40万円以上200万円以下)
- 応募×切日 **第1回 平成27年7月15日(水)**  
※第2回は11月30日×切
- 審査方法 公開プレゼンテーション ①公益重視型 ②経済振興型

《採択事例》

“盆踊りで長久「絆」プロジェクト”

長久まちづくりクラブ (大田市)

町民の交流を深めて安心安全なまちづくりを目指すため、地域文化の象徴である盆踊りを25年ぶりに復活。また、事業を通じてリーダー研修を実施しこれからを担う若い世代の育成に力を入れています。

(公益重視型)

“はたマーケット開設事業”

波多コミュニティ協議会 (雲南市)

地域で唯一の商店が閉店してしまっため、協議会がマーケットを開設・運営。地域交通システムを活用して送迎や宅配も行い、地域の高齢者にとって、なくてはならない存在となっています。

(経済振興型)



▲マーケットでは生鮮食品や酒類なども取扱っており、充実した品揃え。

★採択ポイント★

- ☑地域の課題解決や、地域の活性化につながる事業である
- ☑事業計画がしっかりしており、実現可能な内容である
- ☑事業を遂行するための組織運営能力、知識、経験、ネットワークがある団体である
- ☑わかりやすく、熱意・説得力のあるプレゼンテーションである

事前に  
ご相談ください♪



## 助成金情報

公益信託しまね女性ファンド助成  
事業 平成27年度後期募集  
期 ~7/15(水)

島根県の女性たちが自主的・主体的に企画・実施する事業を対象とした助成です。  
**対** 島根県の女性たちが中心となって活動している民間の団体やグループ。  
**金** 対象経費の2/3を助成(1万円単位で上限50万円)  
 男女共同参画社会づくりの普及・啓発活動は、対象経費全額を助成(1万円単位で上限10万円)  
**問** 公益信託しまね女性ファンド事務局  
 Tel: 0854-84-5514  
<http://www.asuterasu-shimane.or.jp/swc/jigyo/fund/>

再生可能エネルギーによる  
地域活性化支援事業  
期 平成27年12月までの  
毎月20日期限(翌月交付決定)

自治会等の再生可能エネルギーを活用した、地域活性化の取組みを対象とした助成です。  
**対** 県内の自治会、特定非営利活動法人、商店街振興組合など  
**金** 【売電事業を行う場合】  
 対象経費の合計額を一定の条件より借入れるものとみなして算定した借入利子の合計額に相当する額(上限150万円)  
 【自家消費事業を行う場合】  
 対象経費の合計額の2分の1(上限100万円)  
 ※補助対象経費:再生可能エネルギー発電設備及び附属設備の設置費(原則50kW未満)  
**問** 島根県 地域振興部 地域政策課 地域エネルギーグループ  
 担当: 大畑 Tel: 0852-22-6713  
<http://www.pref.shimane.lg.jp/chikiseisaku/>

## 募集情報

ごうぎん起業家大賞  
期 ~7月31日(金)

地域に根ざしたビジネスプラン、革新的・創造的なビジネスプランを募集します。  
**対** 【スタートアップ部門】  
 新たなビジネスプランを有し、山陰で起業または起業後3年程度の中小企業及び個人の方。  
 (例) 地元農産品にこだわった農家レストラン事業、商店街活性化や弱者支援などにつながるソーシャルビジネスなど  
**金** 最優秀賞100万円、努力賞20万円(若干数)  
**対** 【グロース部門】  
 革新的・独創的なビジネスプランを有し、山陰で新事業・第二創業に取り組む中小企業及び個人の方。  
 (例) 医療・新エネルギー・農業等の成長分野において新たな市場を創造する事業、新技術開発を事業化するものなど  
**金** 最優秀賞100万円、努力賞20万円(若干数)  
**問** ごうぎん起業家大賞事務局 Tel: 0852-55-1812  
 (株)山陰合同銀行 地域振興部 リレバサポート室 担当: 丸山  
<http://www.gogin.co.jp/www/contents/1428302430153/index.html>

## イベント情報

第2回里山自然塾特別編  
「竹林と竹藪の秘密」七夕の灯り  
日 7/25(土)10時~15時  
※9:15~ 映画上映  
「絶海に浮かぶ進化の島々  
小笠原諸島」

里山の竹問題や竹の生態について学んだあとで、夏の美しい夜を演出する2種類の竹灯明を作ります。最後は、全員の作品を集めて、暗幕を張った学習室に幻想的な空間を演出します。そこから、竹と人との友好な関係を考えていただきます。  
**場** 島根県立ふるさと森林公園 学習展示館(松江市宍道町佐々布3352)  
**問** NPO法人もりふれ倶楽部 担当: 野田・宮崎  
 (島根県立ふるさと森林公園 学習展示館内)  
 Tel: 0852-66-3586  
<http://www.morifure.jp/>

# ふるさと島根定住財団 上半期の取り組みを紹介します



## 就職支援

- ★若手社員交流会 6/24 (水) 松江  
対象：平成27年4月新たに島根県内に就職した新入社員の方、入社後数年の若手社員の方
  - ★就職フェアしまね 8/9 (日) 浜田、8/12 (水) 松江、8/15 (土) 益田  
対象：2016年3月大学等卒業予定者および県内就職を希望する方  
(※) 浜田、益田は各雇用推進協議会主催
  - ★しまフェス
    - ①インターンシップでつながる編 8/9 (日) 松江 対象：学生(全学年)
    - ②バスツアー編 8/22 (土)～23 (日) 対象：低学年(2017年3月以降の卒業予定者)
- 詳細はこちらでご確認ください → <http://www.gogo-jobcafe-shimane.jp/>

## Uターン

- ★しまね留学合同説明会 しまねの教育ナイト 6/27 (土) 大阪、6/28 (日) 東京
  - ★しまねU・Iターン相談会、しまねナイト 7/11 (土) 東京
  - ★新・農業人フェア 7/11 (土) 東京
  - ★ふるさと回帰フェア 8/22 (土) 大阪、9/13 (日) 東京
  - ★しまねU・Iターンフェア 8/29 (土) 大阪
  - ★朝日U・Iターン相談会 9/6 (日) 大阪
- 詳細はこちらでご確認ください → <http://www.kurashimanet.jp/>

## 地域づくり

- ★NPO法人 事務局セミナー
    - ・雇用・給与計算 6/24 (水) 松江、25 (木) 浜田
    - ・NPO会計①仕訳 7/22 (水) 松江、23 (木) 浜田
  - ★地域づくり入門講座 6/24 (水)、7/1 (水) 松江
  - ★田舎ツーリズム県民フォーラム 6/27 (土)～28 (日) 浜田
  - ★業務効率化セミナー 9/16 (水) 松江、17 (木) 浜田
- 詳細はこちらでご確認ください → <http://www.shimane-ikiiki.jp/>

NPO 法人でなくても、人を雇用している団体はぜひ！



### 今月のキーワード 「助成金」

今月は「NPO虎の巻」から、助成金に関するヒントを、NPO法人の皆さんに合った事例もまじえてご紹介します。

Q. 助成金を申請するとき、企画書をどのように書いていますか？

A. 定住財団では、助成金を申請する際の事業計画のまとめ方、申請書の書き方等のセミナーを毎年開催しています(今年度は秋頃を予定)。その他、助成事業を行う場合、当財団も含め公開で審査会を行っている場合があります。公開審査会を見ることはとても有効です。申請団体のプレゼンを聞くことで、どのように伝えると良いのかが見えてきます。↑

また、審査員がどのようなポイントで質問しているかを聞くことで、資金を出す側は何を知りたいのかが見えてきます。審査基準があらかじめ公開されている場合も多くありますので、そのような事前の情報収集も大切です。

Q. 助成金終了後、どのようにして事業を継続させていますか？

A1. 助成事業から自主事業への展開

バスマップを作成する事業を松江市に提案し、市からの補助金で事業をスタートしました。補助金を活用し試作版を無料配布しました。無料配布した段階で好評だったことで手ごたえをつかみ、その後は路線図のみでなく時刻表も加えた「バスブック」として改良し、企業広告を付けて書店にて販売を始め、広告収入を得て発行数を重ねています。(NPO法人プロジェクトゆうあいの場合)

A2. 助成金は事業(商品)開発への投資

事業の立上げ、初期調査等に助成金等を活用しています。例えば、多岐にわたるNPOの事務を整理した「検定」を策定したのですが、その検定を全国の他の中間組織へノウハウ移転して事業拡大する際、助成金を活用しました。「活動」を「事業」化する際には、販売できる「商品」にする必要があります。取組を整理し、外部の力を借りて磨き、定例反復的に提供できるようにします。助成金をその初期投資に活用しています。(NPO法人岡山NPOセンターの場合)



『島根で頑張る人』は県内で活動する人にスポットを当て、考え方や経験から団体活動に迫るコーナーです。  
スタッフの「学び」も兼ねて取材させていただいています。

# 島根で 頑張る人



## 持続可能な社会を目指して

見事な棚田が広がる雲南市山王寺。「以前は都内を駆け回っていたのに、今はこうして毎日田んぼで汗をかいている。我ながらすごい変化だと思うよ」と、笑顔を見せたのはNPO法人 日本エコビレッジ研究会（JEF）の理事長、召古裕士さん。同法人は山王寺で、農薬や肥料を使わない環境に配慮した農業により、稲、マコモやにんにくなどの野菜を栽培している。この農法は土を改良する難しさがあるが、害虫に強く、環境への影響も少ない。収穫した米等は、松江市内で運営している「こだわり農産物直売所」で販売しているほか、松江市内の飲食店にも少しずつ卸し始めており、好評を博しているという。

松江市出身の召古さんは、長年関東で環境コンサルティングの会社を経営してきた。環境に関わる仕事をする中で、持続可能な社会を実現する必要性を強く感じるようになったという。平成21年に前身である任意団体しまねエコビレッジ研究会を立上げ、平成22年にNPO法人化し、同時期に自身も島根県にUターン。



雲南市山王寺の棚田

以来、様々な活動を行ってきた。JEFは、持続可能なシステムづくりを様々な分野において進めるべきだと考えている。そのため、活動の範囲は環境に配慮した農業の実践に止まらない。例えば、農業と福祉を組み合わせた取組として、社会福祉法人さくらの家と連携して大豆を栽培し、味噌や豆腐作りを行っている。昨年は90kgの大豆が収穫できただけでなく、参加者の家族からも「本人が元気になった」という声が聞かれたそう。また、同法人のメンバーの一人が山王寺に里山ハウスを建設。風力・太陽光発電の設備を設け、電気や食料を自給する自給自足モデルの実現も目指している。

こうした活動の中で、JEFが大切にしているのは「より多くの人に知ってもらおう」ということだ。例えば環境に配慮した農業については、生産者と消費者を繋ぐシンポジウムを開催したり、生産物を販売して実際に食べてもらうことで、自分たちの活動や考え方をPRしている。「『こういうやり方もあるんだ』と気づく人が増え、ゆくゆくは同じ考えを持つ人同士が繋がっていったら」と召古さんは話す。

広い視野と行動力をもって、数々のアイデアを実現させてきた召古さんは、今、漁村地域の魅力の再発見にも取り組んでいる。舞台は島根半島最北端に位置する沖泊だ。召古さんはここに住居を移し、山王寺に通う傍ら、沖泊のために何ができるか考えている。目指すのは、地域にもともとある資源を活用して、地元の方々と共に地域に根差した産業を創出することだ。召古さん達の更なる今後の活躍から、ますます目が離せない。(M)



## NPO法人 日本エコビレッジ研究会 (略称・JEF)

めしこ やすし  
理事長 召古 裕士さん

松江市生まれ。大学卒業後、昭和60年に日本クニヤ株式会社(本社・神奈川)を設立。平成22年に同社を譲り、松江市にUターンして現在はNPO法人日本エコビレッジ研究会の理事長を務める。現在は松江市沖泊に居住し、これまでの活動に加えて漁村地域の魅力の再発見にも取り組んでいる。

## 団体の主な活動

持続可能な安心社会を形成するために、環境に配慮した農業の推進・普及や生産者と消費者のネットワーク作り、エネルギーと食料を自給する取組、漁村地域の魅力の再発見など、多方面で活動している。

現在、しまね地域づくり活動体験事業(ふるさと島根定住財団)で体験者を募集中。

<http://www.ecov.jp>

<https://www.facebook.com/j.ecovillage>

## スタッフ後記

先日、雲南市三刀屋町中野地区にある、旧JAの施設を利用した産直市「笑んがわ市」へ視察に行きました。そこでは、地域の人たちが手作りの野菜や加工品を販売できるほか、各々が茶口を持参し交流を深める喫茶サロンもあります。特に独居高齢者や昼間独居の方にとっては、家で過ごすよりも話し相手が多いこの場所は精神的な拠り所であり、開店前の行列を見てもそれが伺えました。この地区唯一の産直市の賑わい。いつまでも続いて欲しいものです。(T)

松江事務局

〒690-0003  
松江市朝日町478-18 松江テルサ3階  
TEL (0852)28-0690 FAX (0852) 28-0692  
E-mail: shimane@teiju.or.jp

## お知らせ

### 「NPO・市民活動のための助成金応募ガイド2015」

【(公財)助成財団センター発行】

NPOや市民活動向けの公募プログラム819の概要を紹介。民間財団の助成金ガイドブックの決定版。松江事務局・石見事務所で貸出しています。



## 新着図書情報

- 県内NPO法人数 275 【H27. 5. 31現在】  
(内 認定NPO法人数 6、仮認定NPO法人数 0)
- 新設NPO法人数 1 ■ 解散NPO法人数 0 (H27.5月分)
- しまね社会貢献基金登録団体数 51
- だんだん認証レベル取得団体数 43 (内 レベル2 26)

〒697-0034

浜田市相生町1391-8 シティパルク浜田2階  
石見産業支援センター「いわみぶらっと」内  
TEL (0855)25-1600 FAX (0855)25-1630  
E-mail: iwami@teiju.or.jp

石見  
事務所